

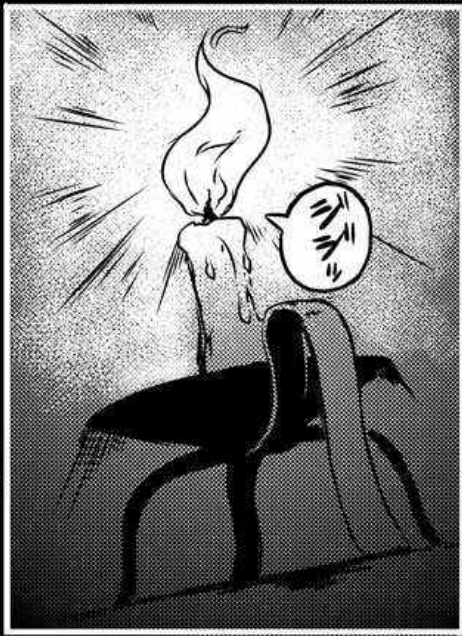
東方プロジェクトファンブック
十八禁

淫
欲
の
檻



淫女の檻





遅くなって
しまったわ



今夜はこの辺で
切り上げましょう



今日も
ハメさせてよ…

ねえ…
おねがい聖

ひじり
聖…

我慢
できないんだ
ほじらせて…

滅茶苦茶にしたいんだ
聖のおまんこ

ぬえ…

いけないわ
ぬえ…

明日は

檀家の人達を
寺に呼んで
説法をするの
今晚はガマンして
ちようだい

なんて…こと…

星やムラサの肉穴に
中出ししてやっても…
腰振ってる聖のアクメ顔を
思い浮かべたら
すぐこうなっちゃう

駄目なんだっ！

何回抜いても…

聖のオマンコで
イかないと
収まらないんだ！

仕方ない…
わね…

むあぁ…

私の口で…一回だけ
抜いてあげる

は

私以外の子に
夜這いを
かけるのだけは
止めさせないと…

ちゃ

ぴり
ぴり

ピクッ

あ

ぬ

本当に星やムラサを
犯してから来たのね…
すごい臭い

6

あ…

すごい…♡
自分からお口で
してくれるなんて

本当に
淫乱なんだね
聖って

けど…

ちよっと
物足りないかな♪

あ

ほ

うう…

んふ…

じゅ
るるるる

んむう

おん



奥まで全部
飲み込ん
じゃえ!



たまんない
よお♡

んんっ...
おっ!!

じゅっ!!
ぶっ!!

ぶっ!!
ぶっ!!
ぶっ!!
ぶっ!!
ぶっ!!
ぶっ!!
ぶっ!!
ぶっ!!
ぶっ!!
ぶっ!!



うわっ

はあ
はあ
はあ

ふうん...

はあ...
はあ...

はあ...
はあ...

うわっ

はあ...
はあ...
はあ...

はあ...
はあ...

はあ...



ゴホッ
お…お願いぬえ
もう、
これ以上は…

許して
お願い
よお…

ぬえっ

ぷあ



ああ…何故

ね、
最後まで
やろう？
聖

ねえ聖…
トトロ口のおまんこ
もつと良く見せてよ
ここでガマンしたら
きつと明日まで
そのままだよ…



ねっ！

そんなにアソコ
ヒクつかせながら
言っても
説得力無いよ

私のチンコに
喉奥まで
ズボズボ犯されて
思いつきり
感じちやったでしょ



何故：
こんな事に

いつごろだろう
私の身体を見つめる
ぬえの視線に
気づいたのは

あの子が寺の面子と
打ち解けられずにいるのは
知っていた。
私に助けを求めているのだと
ばかり思っていたが…


実際は
違った

ぬえは…
両性具有の
妖怪だったのだ

抑えられぬ
己の性的衝動を
自慰で発散していた

私の
あらゆる
思い浮かべながら


他の子たちと
打ち解けなかつたのは
そんな己の行為を
羞じていたからだろう



私は、ぬえを
拒絶できなかった




私はただ
この子を
救いたかった




続けるような目が
訴えていたのだ
「独りにしないで」と

愛を教え
妖怪として
この子の全てを
受け入れて
あげたかった



だが私はこの行為が慈愛でも
仏の教えでも無いことに
気がつかなかった。
いや、分かっていたいながら
敢えて無視したのかもしれない



ぬえの自慰を
目の当たりにしたとき…
自分の中に眠る
淫欲の炎はもう既に
目覚め始めていたのだ

あとはただ、二人で
転がり落ちていくだけだった

あ……ああ……
これで

これで……んっ……
いいの？ ぬえ

底知れぬぬえの情欲に
肉襞を抉られ
子袋の中にとってりした
種汁を注ぎ込まれて
若返った私の軀は肉の悦びに
完全に目覚めてしまった

口では拒否しても
身体は抑えきれない
今やあの子の臭いを
嗅ぐだけで私の肉壺は
奥から濡れ始め
肉棒を見せ付けられると
歓喜の涎が溢れ出す

夜な夜な獣のような
まぐわいを重ねるうち
私は身も心も邪淫に侵され
畜生の道に堕ちていたのだ

ほりオオオ

ピリッ

ヒューン

襞の奥まで
よく見せてよ
今さらもう
恥かしく
ないでしょ？





聞いてよ! ほら
溢れた汁でオマンコが
すごいスケベな音
たててる



イクのを
我慢しなくても
いいんだよ?

はあ...
あはあ...

ほら、
ほら、
♡



すごい!
もう中までトロトロ

指だけでイカせ
られちやいそうだよ



イッ
ちゅ
ちゅ
!!

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

すごい
イキっぷり！

子宮口コリコリ
されるのに
弱いんだよね
聖は…おっ？

すごいや…
マン肉が指に
吸いついてくる

ほら見てよ
聖のアクメ汁

んあ…あ

どんだん
スケベな身体に
なつてくね
聖は…♡

あなたが…
私をこんなに
しまったのよお…

さあ準備運動だけで
へばっちゃわらないでよね
本番はここからだよ

緩んだ子宮口
亀頭で突きまくって
子種をどっっぷり
注いだげる

ああ駄目…
声が蕩けてるわ
絶頂の余韻と挿入の
期待感で腰が
クネってしまう…

ぬん…

ああ…
やめん

はあ…

っふっ

ああ…
はい
挿入る…

あ





ああ...
くう...

あ

ひあつ!!
あつ...

奥まで...
届いてるだろ!

や...

やめてえ...
乱暴にしないで

もつとヨガれっ!!
啼けっ
ホラッ!!

あ

あ

17

17



あま...ほま...

ちゅすすす

ちゅる

あま...ほま...

あま...ほま...

あま...ほま...
あま...ほま...



はやくっ 早く射精したいっ 聖の中にいっばいい♡

おちんぽっ おちんぽ蕩けるう♡



あはあ...♡ すごいいい

聖のっ 聖のオマンコお♡

挿入れるたび どんどん...っ... 気持ちよく なってくよお♡



おっ!!

聖!!

はぁーっ♡

おっ!!
おっ!!

ぬえは
卑猥な文句を吐きながら
私の子宮を騷るように
何度も何度も射精する。

聖い…
孕んでよお…

あ…
あ…
あ…

やめて…
そんなことお…

私の
赤ちゃん

欲しいよ…
一緒におっぱい
吸いながら種付け
しまくりたいよお…

濃厚な種汁で私の子袋が
いっぱいになっても
赤子のように継りついてくる

ひゅ
ひゅ
ひゅ

ひゅ
ひゅ
ひゅ

ピュ
ピュ
ピュ
ピュ
ピュ
ピュ
ピュ
ピュ

ダメ
よお…
♡



私の肉壺がヒクついている
ぬえの精液を一滴たりとも
逃すまいと妖しく蠢き
あの子の肉棒を
締め付け続けている。



私は囚人
私を魔界に閉じ込め続けた
千年の封印よりなお強く
身体と心を捕らえられ
快樂の檻に縛りつけられる
淫欲の囚人：

どれだけ辱められようと
黷られようと
ぬえの責めを、あの子の精子を
身体が求めてしまうのだ

奥付

発行
14/10/12
第十回東方紅楼夢

発行者
エナジー
achtung@inter7.jp

サークル
穴ふたつ
ブログ「淫行アイランド」
<http://zsu234.blog.fc2.com/>

印刷
株式会社栄光さま

原作
東方project
上海アリス幻楽団



この本は
成人向けです
18歳以下の購入、所持、
閲覧を禁じます
無許可での転載、複製、アップロード
現代アートへの利用を禁じます

穴ふたつ
2014